

## 小学校の復習

1 数の計算と性質	4
2 単位量あたりの大きさ	6
3 割合・比	8
4 図形	10
5 場合の数, 資料の調べ方	12

## 正負の数

1 正負の数の意味 (1)	14
<input type="checkbox"/> ポイント 1 正の数・負の数	
<input type="checkbox"/> ポイント 2 正負の数を使った量の表し方	
<input type="checkbox"/> ポイント 3 数直線	
<input type="checkbox"/> ポイント 4 絶対値と数の大小	
■ 練成問題	
2 正負の数の意味 (2)	18
<input type="checkbox"/> ポイント 1 数直線を使った正の数の加減	
<input type="checkbox"/> ポイント 2 数直線を使った負の数の加減	
<input type="checkbox"/> ポイント 3 絶対値と正負の数の加法	
<input type="checkbox"/> ポイント 4 絶対値と正負の数の減法	
<input type="checkbox"/> ポイント 5 加法の式の表し方	
■ 練成問題	
3 正負の数の加減	24
<input type="checkbox"/> ポイント 1 加法の計算法則	
<input type="checkbox"/> ポイント 2 3数以上の加減	
■ 練成問題	
4 正負の数の乗除	28
<input type="checkbox"/> ポイント 1 正負の数の乗法	
<input type="checkbox"/> ポイント 2 3数以上の積	
<input type="checkbox"/> ポイント 3 累乗	
<input type="checkbox"/> ポイント 4 正負の数の除法	
<input type="checkbox"/> ポイント 5 乗除混合計算	
■ 練成問題	
5 正負の数の四則計算	34
<input type="checkbox"/> ポイント 1 加減乗除の混じった計算	
<input type="checkbox"/> ポイント 2 累乗のある四則計算	
<input type="checkbox"/> ポイント 3 分配法則と計算の工夫	
<input type="checkbox"/> ポイント 4 数の集合と四則計算	
<input type="checkbox"/> ポイント 5 四則計算の利用	
<input type="checkbox"/> ポイント 6 素数	
<input type="checkbox"/> ポイント 7 素因数分解	
<input type="checkbox"/> ポイント 8 素因数分解の利用 ①	
<input type="checkbox"/> ポイント 9 素因数分解の利用 ②	
■ 練成問題	
6 正負の数のまとめ	42
◆ 探究問題 ① 正負の数	46

## 文字式

7 文字式の表し方	48
<input type="checkbox"/> ポイント 1 文字の使用	
<input type="checkbox"/> ポイント 2 文字を使った式の表し方	
<input type="checkbox"/> ポイント 3 商の表し方の決まり	
<input type="checkbox"/> ポイント 4 文字式の表し方(まとめ)	

- ポイント 5 数量の表し方
- ポイント 6 整数の表し方
- ポイント 7 平均の表し方
- ポイント 8 単位の換算
- ポイント 9 道のり・時間・速さの表し方
- ポイント 10 速さの利用
- ポイント 11 割合
- 練成問題

## 8 文字式の計算 (1)

- ポイント 1 式の値
- ポイント 2 項と係数
- ポイント 3 項をまとめる
- ポイント 4 簡単な式の加減
- ポイント 5 式と式の和
- ポイント 6 式と式の差
- 練成問題

## 9 文字式の計算 (2)

- ポイント 1 文字式×数
- ポイント 2 文字式÷数
- ポイント 3 分配法則
- ポイント 4 分配法則(分数をふくむ計算)
- ポイント 5 文字式の四則計算
- ポイント 6 分数をふくむ文字式の四則計算
- ポイント 7 速さに関する問題
- ポイント 8 割合に関する問題
- ポイント 9 図形に関する問題
- ポイント 10 規則性に関する問題
- 練成問題

## 10 関係を表す式

- ポイント 1 等式
- ポイント 2 不等式による表現
- ポイント 3 円に関する公式
- 練成問題

## 11 文字式のまとめ

## ◆ 探究問題 ② 文字式

## 方程式

## 12 方程式の解法

- ポイント 1 方程式とその解
- ポイント 2 移項を用いた方程式の解法
- ポイント 3 かっこをふくむ方程式の解法
- ポイント 4 小数をふくむ方程式の解法
- ポイント 5 分数をふくむ方程式の解法
- ポイント 6 比例式
- 練成問題

## 13 方程式の利用 (1)

- ポイント 1 方程式の利用
- ポイント 2 和と差の問題
- ポイント 3 代金に関する問題
- ポイント 4 分配の問題
- 練成問題

## 14 方程式の利用 (2)

- ポイント 1 増減の問題
- ポイント 2 平均の問題
- ポイント 3 過不足に関する問題
- ポイント 4 規則性に関する問題
- 練成問題

15 方程式の利用 (3) ..... 98

- ポイント 1 速さに関する問題 I
- ポイント 2 速さに関する問題 II
- ポイント 3 割合に関する問題
- ポイント 4 濃度に関する問題
- ポイント 5 全体を 1 とする問題
- 練成問題

16 方程式のまとめ ..... 104

◆ 探究問題 ③ 方程式 ..... 108

比例・反比例

17 比例 ..... 110

- ポイント 1 関数の意味
- ポイント 2 比例 (1)
- ポイント 3 比例 (2)
- ポイント 4 比例の式の求め方
- ポイント 5 比例の利用
- 練成問題

18 比例とグラフ ..... 116

- ポイント 1 座標の表し方
- ポイント 2 比例のグラフ
- ポイント 3 直線上の点の座標
- ポイント 4 比例のグラフの利用
- 練成問題

19 反比例とグラフ ..... 122

- ポイント 1 反比例
- ポイント 2 反比例の式の求め方
- ポイント 3 反比例の利用
- ポイント 4 反比例のグラフ
- ポイント 5 比例のグラフと反比例のグラフ
- 練成問題

★ 対称な点と三角形の面積 ..... 128

- ポイント 1 対称な点の座標
- ポイント 2 座標平面上の三角形の面積

20 比例・反比例のまとめ ..... 130

◆ 探究問題 ④ 比例・反比例 ..... 134

平面図形

21 平面図形の性質 ..... 136

- ポイント 1 直線・角
- ポイント 2 垂直と平行
- ポイント 3 円とおうぎ形, 正多角形
- ポイント 4 接線や弦の性質
- ポイント 5 おうぎ形の弧の長さや面積
- 練成問題

22 作図 ..... 144

- ポイント 1 垂直二等分線
- ポイント 2 角の二等分線
- ポイント 3 垂線
- ポイント 4 いろいろな作図
- 練成問題

23 図形の移動 ..... 150

- ポイント 1 図形の移動

- ポイント 2 移動の組み合わせ
- ポイント 3 移動の作図
- 練成問題

24 平面図形のまとめ ..... 156

◆ 探究問題 ⑤ 平面図形 ..... 162

空間図形

25 いろいろな立体とその見方 ..... 164

- ポイント 1 角柱と角錐
- ポイント 2 円柱と円錐
- ポイント 3 正多面体
- ポイント 4 投影図
- 練成問題

26 空間の位置 ..... 172

- ポイント 1 平面・直線の位置関係
- ポイント 2 平面どうしの位置関係
- ポイント 3 線や面の移動
- ポイント 4 回転体
- 練成問題

27 体積・表面積 ..... 178

- ポイント 1 角柱, 円柱の表面積
- ポイント 2 角柱, 円柱の体積
- ポイント 3 角錐, 円錐の表面積
- ポイント 4 角錐, 円錐の体積
- ポイント 5 球の表面積・体積
- ポイント 6 回転体の体積・表面積
- 練成問題

★ 立体の切断とその断面 ..... 186

- ポイント 1 立体の切断とその断面

28 空間図形のまとめ ..... 188

◆ 探究問題 ⑥ 空間図形 ..... 192

資料の活用

29 資料の活用 ..... 194

- ポイント 1 度数分布
- ポイント 2 代表値
- ポイント 3 相対度数
- ポイント 4 累積度数
- ポイント 5 累積相対度数
- ポイント 6 確率の意味
- 練成問題

◆ 探究問題 ⑦ 資料の活用 ..... 203

1年の復習

1 正負の数 ..... 205

2 文字式 ..... 207

3 方程式 ..... 209

4 比例・反比例 ..... 211

5 図形 ..... 214

6 資料の活用 ..... 218

## ポイント 1 正の数・負の数

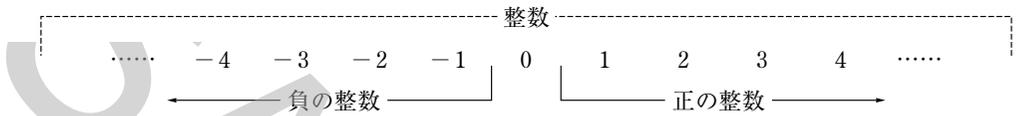
- 正の数・負の数……0を基準にして、0より大きいか、小さいかで、数を2つ(0を入れると3つ)に分類できる。

- ① 負の数……0より小さい数。負の数は、負の符号「-」(マイナス)をつけて表す。
- ② 正の数……0より大きい数。負の数に対して、正の数は、正の符号「+」(プラス)をつけて表す。

\* 小学校であつかつていた数は、0と正の数である。

- 例
- ① 0より1小さい数 =  $-1$  (マイナス1)
  - ② 0より $\frac{2}{3}$ 小さい数 =  $-\frac{2}{3}$
  - ③ 0より2大きい数 =  $+2$  (プラス2)
  - ④ 0より0.8大きい数 =  $+0.8$

- 整数……負の整数, 0, 正の整数を合わせた全体。正の整数を自然数ともいう。



## 確認問題 1 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の数を+, -の符号を使って表しなさい。

- \*□① 0より3大きい数      □② 0より3.5大きい数      □③ 0より $\frac{1}{2}$ 大きい数
- \*□④ 0より4小さい数      □⑤ 0より0.06小さい数      □⑥ 0より $\frac{6}{5}$ 小さい数

- (2) 次の空欄にあてはまる数を答えなさい。

- \*□① 0より(      )大きい数は $+6$ である。      □② 0より(      )大きい数は $+0.25$ である。
- \*□③ 0より(      )小さい数は $-10$ である。      □④ 0より(      )小さい数は $-\frac{1}{4}$ である。

- (3) 次の空欄のAにあてはまる数と、イにあてはまる大きいか小さいかを答えなさい。

- \*□①  $+0.5$ は、0より( A )だけ( イ )数である。
- ②  $-\frac{2}{3}$ は、0より( A )だけ( イ )数である。

- (4) 次のA~シの数を、あとの①~⑤に分類しなさい。

ア  $-0.6$       イ  $+3$       ウ  $+0.001$       エ  $-1$       オ  $+\frac{3}{2}$       カ 0

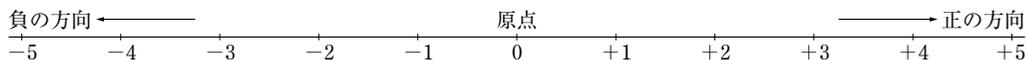
キ  $-\frac{6}{5}$       ク  $-0.58$       ケ  $-88$       コ  $+\frac{12}{5}$       サ  $+100$       シ  $-\frac{25}{3}$

- \*□① 負の整数      \*□② ①以外の負の数      □③ 自然数
- ④ ③以外の正の数      □⑤ ①~④以外の数



### ポイント 3 数直線

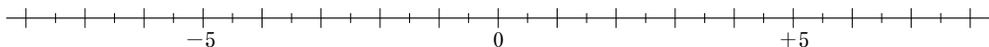
- 数直線……1つの直線上に、基準となる点を決め、この点に数0を対応させ、0の左に負の数、右に正の数を対応させた直線。数0に対応する点を原点という。



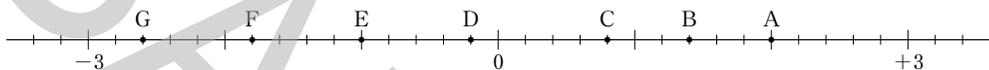
### 確認問題 3 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の数に対応する点を下の数直線上に示しなさい。

□① +3    \*□② -1    \*□③ +4.5    □④ -3.5    □⑤ -0.5    □⑥  $-\frac{15}{2}$



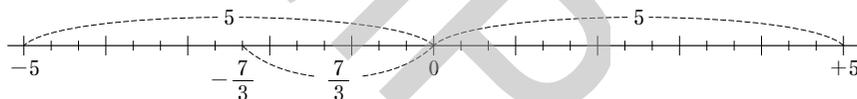
- \*□(2) 次の数直線上の点A～Gに対応する数を答えなさい。



### ポイント 4 絶対値と数の大小

- 絶対値……数直線上で、その数に対応する点と0(原点)との距離。その数から符号を取り去った数になる。

例 ① +5の絶対値=5    ② -5の絶対値=5    ③  $-\frac{7}{3}$ の絶対値= $\frac{7}{3}$



- 数の大小……① 正の数は0より大きく、絶対値が大きいほど大きい。  
② 負の数は0より小さく、絶対値が小さいほど大きい。

例  $-3.4 < -2 < -\frac{1}{2} < 0 < +0.5 < +\frac{3}{4} < +2 < +\frac{12}{5}$

### 確認問題 4 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の数の絶対値を答えなさい。

\*□① -3    \*□② +2    □③ 0    □④ -3.2

- (2) 次の空欄にあてはまる不等号を答えなさい。

\*□① +3 ( ) -13    □② -5 ( ) 0    □③ -9 ( ) -3

\*□④ -1.4 ( ) -6.6    □⑤ -5.3 ( ) -5.8    □⑥  $-\frac{5}{6}$  ( ) -1

- (3) 次の各組の数の大小を、不等号を用いて表しなさい。

\*□① +2, -2, 0, -3    □② +0.01, -0.01, +0.1, -0.1

\*□③  $-\frac{1}{2}$ ,  $-\frac{1}{3}$ ,  $-\frac{3}{4}$ ,  $-\frac{2}{5}$     □④  $-\frac{2}{3}$ , +0.3,  $+\frac{1}{4}$ , -0.5

# 練成問題

1 次の空欄にあてはまる数を答えなさい。

(⊕ポイント 1)

\*□(1) 0 より  $\frac{4}{5}$  小さい数は( )である。

□(2)  $-1.06$  は 0 より( )小さい数である。

2 次の問いに答えなさい。

(⊕ポイント 2)

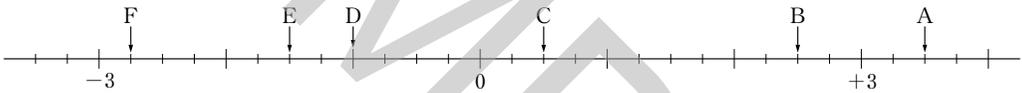
\*□(1) 200 円の値上げを  $+200$  円と表すと、50 円の値下げはどのように表されるか。

□(2) 次の表は、A ~ F の 6 人の生徒の身長が、クラス全体の身長の平均である  $151.3$  cm と比べて、何 cm 違うかを正負の数を用いて表そうとしたものである。 $+$  が平均より高く、 $-$  が平均より低いことを表すとき、空欄にあてはまる数を答えなさい。

生徒	A	B	C	D	E	F
平均との違い (cm)	+7.5	-3.2	0	-5.1	+4.3	-1.7
身長 (cm)						

3 次の数直線について、あとの問いに答えなさい。

(⊕ポイント 3)



□(1) 次の数に対応する点を上の数直線に  $\downarrow$  で示しなさい。

□①  $+2$    \*□②  $-2$    \*□③  $-2.5$    □④  $+0.75$    □⑤  $-0.25$    □⑥  $-\frac{7}{4}$

\*□(2) 数直線上の点 A ~ F に対応する数を答えなさい。

□(3) 数直線上の点 C と点 F の距離を答えなさい。

4 次の問いに答えなさい。

(⊕ポイント 4)

\*□(1) 絶対値が 3 より小さい整数をすべて答えなさい。

□(2) 絶対値の等しい 2 つの数があり、その差は 8 である。このような 2 つの数を求めなさい。

□(3) 次の各組の数の大小を、不等号を用いて表しなさい。

\*□①  $-3, -3.5, -3.1, -3.01$    □②  $-\frac{9}{2}, -\frac{37}{6}, -1, -1.7$

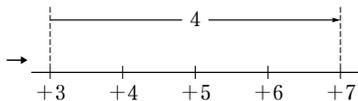
□(4)  $-\frac{7}{2}$  より小さい数のうち、最も大きい整数を答えなさい。

## ポイント 1 数直線を使った正の数の加減

- 正の数をたす計算……正の数をたすことは、たす数だけ大きい数を求めることであるから、数直線上で、たす数の絶対値だけ右へ移動した点に対応した数を求めればよい。

例 ①  $(+3) + (+4)$

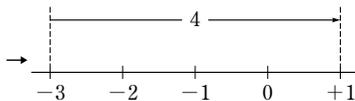
→ +3 より 4 大きい数を求める。



→  $(+3) + (+4) = +7$

②  $(-3) + (+4)$

→ -3 より 4 大きい数を求める。

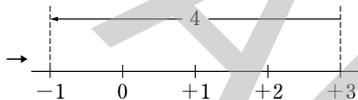


→  $(-3) + (+4) = +1$

- 正の数をひく計算……正の数をひくことは、ひく数だけ小さい数を求めることであるから、数直線上で、ひく数の絶対値だけ左へ移動した点に対応した数を求めればよい。

例 ①  $(+3) - (+4)$

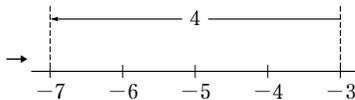
→ +3 より 4 小さい数を求める。



→  $(+3) - (+4) = -1$

②  $(-3) - (+4)$

→ -3 より 4 小さい数を求める。



→  $(-3) - (+4) = -7$

## 確認問題 1 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の空欄にあてはまる数を答えなさい。

\*□① +5 より 6 大きい数は( )である。 □② -8 より 4 大きい数は( )である。

\*□③ +2 より 7 小さい数は( )である。 □④ -5 より 9 小さい数は( )である。

□(2) 数直線を使って、次の計算をしなさい。

\*□①  $(+1) + (+3)$  □②  $(+5) + (+9)$  □③  $(+12) + (+14)$

\*□④  $(-1) + (+4)$  □⑤  $(-3) + (+5)$  □⑥  $(-6) + (+6)$

\*□⑦  $(-4) + (+2)$  □⑧  $(-6) + (+1)$  □⑨  $(-10) + (+7)$

\*□⑩  $(+8) - (+1)$  □⑪  $(+7) - (+4)$  □⑫  $(+9) - (+9)$

\*□⑬  $(+3) - (+7)$  □⑭  $(+6) - (+10)$  □⑮  $(+4) - (+12)$

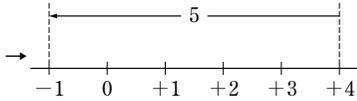
\*□⑯  $(-1) - (+1)$  □⑰  $(-3) - (+5)$  □⑱  $(-8) - (+3)$

## ポイント 2 数直線を使った負の数の加減

- 負の数をたす計算……「負の数をたす」ことは、「正の数をひく」ことと同じであるから、数直線上で、たす数の絶対値だけ左に移動した点に対応した数を求めればよい。

例 ①  $(+4) + (-5)$

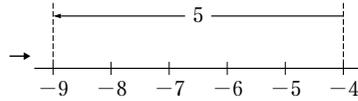
→ +4 より 5 小さい数を求める。



→  $(+4) + (-5) = -1$

②  $(-4) + (-5)$

→ -4 より 5 小さい数を求める。

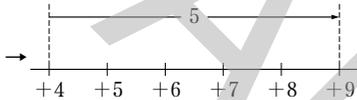


→  $(-4) + (-5) = -9$

- 負の数をひく計算……「負の数をひく」ことは、「正の数をたす」ことと同じであるから、数直線上で、ひく数の絶対値だけ右に移動した点に対応した数を求めればよい。

例 ①  $(+4) - (-5)$

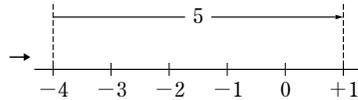
→ +4 より 5 大きい数を求める。



→  $(+4) - (-5) = +9$

②  $(-4) - (-5)$

→ -4 より 5 大きい数を求める。



→  $(-4) - (-5) = +1$

### 確認問題 2 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の文を負の数を使わない言い方に直しなさい。

\*□① -3 をたす      □② -5 をひく      \*□③ -1 大きい      □④ -4 小さい

- (2) 次の空欄にあてはまる数を答えなさい。

\*□① +3 より -5 大きい数は(      )である。      □② -4 より -3 大きい数は(      )である。

\*□③ +2 より -4 小さい数は(      )である。      □④ -3 より -4 小さい数は(      )である。

- (3) 数直線を用いて、次の計算をしなさい。

\*□①  $(+2) + (-1)$       □②  $(+3) + (-4)$       □③  $(+5) + (-5)$

\*□④  $(-3) + (-5)$       □⑤  $(-6) + (-8)$       □⑥  $(-7) + (-7)$

\*□⑦  $(+2) - (-4)$       □⑧  $(+3) - (-8)$       □⑨  $(+11) - (-12)$

\*□⑩  $(-2) - (-5)$       □⑪  $(-6) - (-9)$       □⑫  $(-9) - (-9)$

\*□⑬  $(-8) - (-3)$       □⑭  $(-12) - (-10)$       □⑮  $(-19) - (-12)$

### ポイント 3 絶対値と正負の数の加法

● 加法……ポイント 1・2 から、次のことがいえる。

- ① 同符号どうしの加法……絶対値の和に、共通の符号をつける。  
 ② 異符号どうしの加法……絶対値の差に、絶対値の大きい方の符号をつける。

<p>例 ① <math>(+7) + (+4) = +(\underbrace{7+4}_{\text{絶対値の和}})</math>  <math>= +11</math></p> <p>③ <math>(+6) + (-4) = +(\underbrace{6-4}_{\text{絶対値の差}})</math>  <math>= +2</math></p>	<p>② <math>(-3) + (-5) = -(\underbrace{3+5}_{\text{絶対値の和}})</math>  <math>= -8</math></p> <p>④ <math>(+3) + (-4) = -(\underbrace{4-3}_{\text{絶対値の差}})</math>  <math>= -1</math></p>
--	---

### 確認問題 3 次の計算をしなさい。

- |                      |                     |                     |
|----------------------|---------------------|---------------------|
| *□(1) $(+3) + (+4)$  | □(2) $(+7) + (+2)$  | □(3) $(+5) + (+5)$  |
| *□(4) $(+8) + (+3)$  | □(5) $(+7) + (+9)$  | □(6) $(+6) + (+4)$  |
| *□(7) $(-3) + (-7)$  | □(8) $(-5) + (-3)$  | □(9) $(-5) + (-7)$  |
| *□(10) $(-7) + (-7)$ | □(11) $(-6) + (-4)$ | □(12) $(-8) + (-4)$ |
| *□(13) $(-8) + (-8)$ | □(14) $(-6) + (-9)$ | □(15) $(-9) + (-7)$ |
| *□(16) $(+4) + 0$    | □(17) $(-5) + 0$    | □(18) $0 + (-8)$    |
| *□(19) $(+8) + (-4)$ | □(20) $(-5) + (+2)$ | □(21) $(-4) + (+6)$ |
| *□(22) $(-4) + (+3)$ | □(23) $(-9) + (+7)$ | □(24) $(-5) + (+2)$ |
| *□(25) $(+5) + (-7)$ | □(26) $(+2) + (-7)$ | □(27) $(-1) + (+9)$ |
| *□(28) $(+8) + (-3)$ | □(29) $(-8) + (+6)$ | □(30) $(+1) + (-9)$ |
| *□(31) $(+7) + (-1)$ | □(32) $(-8) + (+3)$ | □(33) $(+5) + (-6)$ |
| *□(34) $(-7) + (+9)$ | □(35) $(+6) + (-9)$ | □(36) $(-7) + (+2)$ |
| *□(37) $(-1) + (+1)$ | □(38) $(+4) + (-4)$ | □(39) $(-5) + (+5)$ |

## ポイント 4 絶対値と正負の数の減法

● 減法……減法は、ひく数の符号を変えることによって、加法に直すことができる。

(「正の数をひく」=「負の数をたす」, 「負の数をひく」=「正の数をたす」)

例 ①  $(+4) - (+3) = (+4) + (-3)$

$$= + (4 - 3)$$

$$= +1$$

③  $(+4) - (-3) = (+4) + (+3)$

$$= + (4 + 3)$$

$$= +7$$

②  $(-6) - (+4) = (-6) + (-4)$

$$= - (6 + 4)$$

$$= -10$$

④  $(-6) - (-4) = (-6) + (+4)$

$$= - (6 - 4)$$

$$= -2$$

### 確認問題 4 次の減法を加法に直して計算しなさい。

\*□(1)  $(+3) - (+4)$

□(2)  $(+7) - (+4)$

□(3)  $(+5) - (+5)$

\*□(4)  $(+8) - (+3)$

□(5)  $(+7) - (+9)$

□(6)  $(+6) - (+4)$

\*□(7)  $(-3) - (-4)$

□(8)  $(-5) - (-3)$

□(9)  $(-5) - (-7)$

\*□(10)  $(-7) - (-7)$

□(11)  $(-6) - (-2)$

□(12)  $(-8) - (-4)$

\*□(13)  $(-8) - (-8)$

□(14)  $(-6) - (-9)$

□(15)  $(-9) - (-7)$

\*□(16)  $(-4) - 0$

□(17)  $(-5) - 0$

□(18)  $0 - (-8)$

\*□(19)  $(+8) - (-4)$

□(20)  $(-5) - (+2)$

□(21)  $(-4) - (+6)$

\*□(22)  $(-4) - (+3)$

□(23)  $(-7) - (+4)$

□(24)  $(-5) - (+1)$

\*□(25)  $(+5) - (-7)$

□(26)  $(+2) - (-7)$

□(27)  $(-1) - (+9)$

\*□(28)  $(+8) - (-3)$

□(29)  $(-8) - (+6)$

□(30)  $(+1) - (-9)$

\*□(31)  $(+7) - (-1)$

□(32)  $(-8) - (+3)$

□(33)  $(+5) - (-6)$

\*□(34)  $(-7) - (+9)$

□(35)  $(+6) - (-9)$

□(36)  $(-7) - (+2)$

\*□(37)  $(-1) - (+1)$

□(38)  $(+4) - (-4)$

□(39)  $(-5) - (+5)$

## ポイント 5 加法の式の表し方

- かつこのつかない計算……加法の式では、数につくかつこと、「たす」ことを表す「+」を省いて書くことがある。

例 ①  $(-6) + (+4) = -6 + 4$   
 $= -(6 - 4)$   
 $= -2$

②  $(+8) + (-12) = 8 - 12$   
 $= -(12 - 8)$   
 $= -4$

\* 式の前頭の「+」も省略することができる。

### 確認問題 5 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の計算式を、かつこのつかない計算式に直しなさい。

- |                   |                  |                  |
|-------------------|------------------|------------------|
| *□① $(-5) + (+2)$ | □② $(-4) + (+6)$ | □③ $(-6) + (+4)$ |
| *□④ $(+5) + (-7)$ | □⑤ $(+2) + (-7)$ | □⑥ $(+1) + (-9)$ |
| *□⑦ $(-8) + (-8)$ | □⑧ $(-6) + (-4)$ | □⑨ $(-9) + (-7)$ |
| *□⑩ $(-6) + (-9)$ | □⑪ $(-7) + (-7)$ | □⑫ $0 + (-8)$    |

□(2) 次の計算をしなさい。

- |               |              |               |
|---------------|--------------|---------------|
| *□① $2 - 7$   | □② $5 - 8$   | □③ $3 - 11$   |
| *□④ $6 - 12$  | □⑤ $1 - 10$  | □⑥ $0 - 7$    |
| *□⑦ $-7 + 10$ | □⑧ $-9 + 1$  | □⑨ $-4 + 6$   |
| *□⑩ $-8 + 8$  | □⑪ $-6 + 10$ | □⑫ $-9 + 0$   |
| *□⑬ $-7 - 3$  | □⑭ $-2 - 8$  | □⑮ $-5 - 6$   |
| *□⑯ $-8 - 8$  | □⑰ $-5 - 12$ | □⑱ $-12 - 9$  |
| *□⑲ $5 - 9$   | □⑳ $-7 - 9$  | □㉑ $-9 + 4$   |
| *□㉒ $-12 - 4$ | □㉓ $-4 + 10$ | □㉔ $1 - 12$   |
| *□㉕ $3 - 15$  | □㉖ $-3 + 5$  | □㉗ $-12 - 12$ |
| *□㉘ $-4 + 4$  | □㉙ $13 - 20$ | □㉚ $-10 + 2$  |

**1** 次の数を求めなさい。

(⊕ポイント 1)

\*□(1)  $-2$  より  $7$  大きい数

□(2)  $+3$  より  $8$  小さい数

**2** 次の数を求めなさい。

(⊕ポイント 2)

\*□(1)  $-5$  より  $-9$  大きい数

□(2)  $-7$  より  $-3$  小さい数

**3** 次の計算をしなさい。

(⊕ポイント 3)

\*□(1)  $(-4) + (-5)$

□(2)  $(+7) + (-5)$

□(3)  $(+2) + (-2)$

\*□(4)  $(-7) + 0$

□(5)  $(-12) + (+8)$

□(6)  $(-15) + (-7)$

\*□(7)  $(+3.5) + (-1.6)$

□(8)  $(-\frac{4}{7}) + (-\frac{6}{7})$

□(9)  $(+\frac{1}{4}) + (-\frac{2}{3})$

**4** 次の計算をしなさい。

(⊕ポイント 4)

\*□(1)  $(-8) - (-4)$

□(2)  $(-4) - (+4)$

□(3)  $(-6) - 0$

\*□(4)  $0 - (-7)$

□(5)  $(-11) - (+13)$

□(6)  $(-21) - (-18)$

\*□(7)  $(-6.3) - (-5.4)$

□(8)  $(-\frac{4}{5}) - (+\frac{9}{5})$

□(9)  $(-\frac{4}{3}) - (-\frac{5}{2})$

**5** 次の計算をしなさい。

(⊕ポイント 5)

\*□(1)  $7 - 12$

□(2)  $-8 + 15$

□(3)  $-15 + 10$

\*□(4)  $-9 - 14$

□(5)  $1.2 - 2.8$

□(6)  $2 - 5.9$

\*□(7)  $-1.5 + 5.3$

□(8)  $-4 + 0.8$

□(9)  $-3.7 - 2.3$

\*□(10)  $-\frac{5}{8} + \frac{3}{8}$

□(11)  $\frac{7}{5} - 4$

□(12)  $-\frac{9}{7} + 3$

\*□(13)  $-2 - \frac{5}{4}$

□(14)  $-\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$

□(15)  $-\frac{1}{3} + \frac{5}{6}$

\*□(16)  $-\frac{7}{4} - \frac{5}{12}$

□(17)  $\frac{4}{5} - \frac{8}{3}$

□(18)  $-\frac{7}{6} + \frac{5}{9}$